



鐙島小だより

令和7年9月29日

校長 野口 典弘

第6号



<http://www11.schoolweb.ne.jp/swas/index.php?id=1510036>



「楽しむ」×「全力」×「感謝」＝「キラにこ」

東京を会場に行われていた世界陸上 2025 が終わりました。日本は銅メダル2個という結果でしたが、それ以上に全力で競技している選手がみんな輝いて見えました。そう感じたのは、私だけではないと思います。先日、たまたまテレビをつけていた時、オリスラガースという女子走り高跳びのオーストラリアの選手が競技に出ていました。試技の前に、「高跳びをすることが楽しみです！」と言わんばかりの満面の笑みを浮かべ、天を仰いで観客に手拍子を求め、自らの体を叩き、「カモン！」と叫んでガッツポーズをして助走に入っていました。彼女のルーティンなのですが、何よりも競技を楽しむ姿勢に溢れていたことに好感を持ちました。

9月25日（木）に、十日町市・津南町小学校親善陸上大会が開かれました。その前日、壮行会が体育館で行われたのですがその時に校長激励の言葉で話した内容です。

「明日の親善陸上大会に向かう5・6年生に3つの話をします。一つ目は『緊張を楽しんでください』ということです。競技前、きっと緊張します。そんな時、『今、自分緊張しているな』『心臓のドキドキが速くなってきた』『これが、緊張っていうものか』って自分で考えることができれば、緊張を楽しむことができているってことです。緊張を楽しむことができれば自分の力を出す準備が整ったということです。そして二つ目。『全力を出し切ってください』。『ああ、もっといい記録出せたのに』とならないように、今まで練習してきたことや指導されたことを思い出すことが大切です。何位入賞とか、自己ベストとか、結果は後についてきますので、全力を出し切ることに集中してください。最後に三つ目です。『周りの人に感謝の気持ちをもってください』ということです。今日の壮行会で1～4年生が一生懸命応援してくれたように、学校から『がんばれえ』って応援してくれている人がいます。みんなの生活を支えてくれている家族も応援しています。これまで指導して下さった中学生や先生方にも感謝しましょう。そして当日、大会を準備して下さったり役員をして下さったりしている人にも感謝をしてください。その人たちのお陰で、親善大会が行われるのです。そうすれば、きっとみんなのところに『キラにこ』が降りてくるはず。5・6年生の健闘を祈っています。」

世界陸上に出たほとんどの選手が、結果がどうであろうと「楽しむことができたこと」

「たくさんの人の支えがあって今の自分があることへの感謝」をインタビューコメントに残しています。結果だけを追い求めるのではなく、楽しむこと、全力を出し切ること、感謝することの大切さを様々な教育活動の場面で伝えていきたいと思っています。



十日町市・津南町小学校親善陸上大会

6年女子 走り高跳び



5年男子 ソフトボール投げ



6年男子 1500m走



5年男子 1500m走



6年男子 走り高跳び



セタ

5年男子 100m走



6年女子 800m走



5年女子 800m走



5年男子 走り幅跳び



6年女子 100m走

音楽部始動しています!

陸上競技部の活動が終わり、音楽部の活動が始まりました。文化祭での発表に向けて、3～6年生が放課後に合唱・合奏の練習に取り組んでいます。パートに分かれて、学年を越えて力を合わせ、息を合わせて活動しています。



絵本と木の実の美術館での活動

1・2年生は、ヤギの「にこた」「すみれ」「しずか」と仲良しです。食事の世話をしたり、お家の掃除をしたり、自分たちのできることに取り組んでいます。3・4年生は、吉田地域を紹介する総合学習で美術館について調べています。

